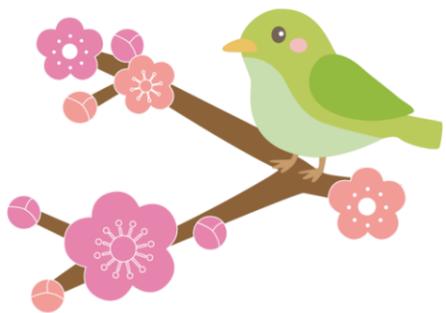


## 『ほつとたいむ通信』 第八十一号

花の便りも聞かれ、若草もえる季節になりました。



### 「犬の十戒」

『犬と私の10の約束』という映画があります。

内容を簡単に説明すると、お母さんが入院したときに、主人公の十四歳になる少女が子犬を飼うことになって、お母さんから犬を飼うときの10の約束を教してもらいます。その後、お母さんが病気で亡くなった悲しみを乗り越えて、医師のお父さんと犬と一緒に成長する少女の様子が表現されています。犬との約束は、

- 1 『私の話をがまん強く聞いてください』
- 2 『私を信じて。私はいつもあなたの味方です』
- 3 『私とたくさん遊んで』
- 4 『私にも心があることを忘れないで』
- 5 『ケンカはやめようね』
- 6 『言うことを聞かないときには理由があります』
- 7 『あなたには学校もあるし友達もいるよね。でも私にはあなたしかいません』
- 8 『私が年をとっても仲良くしてください』
- 9 『私は10年しか生きられません。だから一緒にいる時間を大切にしようね』
- 10 『あなたとすごした時間を忘れません。私が死ぬときお願いします。そばにいて』

という10個で、家族との約束にも当てはまるような内容です。

一四歳になって、恋や仕事で忙しくなった主人公は、

「犬がいると旅行にもいけない」

などと、犬に冷たく当たります。しかし、久しぶりに犬を抱きしめたとき、犬の体が小さく、軽くなったことに気づいてこの約束を思い出します。

犬と一緒にいられる時間が残り少ないことにも気がつきました。

主人公は犬が亡くなるとき、この約束を守っていたかどうか思い出します。もつと、大切にしてあげれば良かったと反省します。



当たり前のように一緒に暮らしていると、その状況が永遠に続くように錯覚してしまいます。それは犬だけでなく人の場合でも同じです。  
どんなに大切な人とも、いつかは別れるときが必ず来ます。だから一緒に過ごせる時間を大切にしたいですね。

「小さな幸せに気づく24の物語」より抜粋

株式会社三悦

代表取締役 樋田 浩三

令和六年四月